



# 令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

## 会津若松市

### （地域における現状・課題）

実際に地域移行を進めるにあたっては、「運営団体の確保」「指導人材の確保」「報酬等の経費」「練習会場の確保」等が課題として挙げられる。地域移行にあたって、本市では、「地域とともに子どもを育てる」体制の構築を目的に取り組んでいるが、「学校の働き方改革」だけを目的にした場合、地域から理解を得られない場合があった。今後、地域移行を持続可能な取組とするためには、目的及び地域の土台が課題となってくる。

### （地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

運営主体：会津若松市教育委員会 / きたあいづスポーツクラブ  
活動場所：市立中学区体育館 / 北会津中学校区公共施設  
指導者：地域指導者、部活動指導員  
移動手段：徒歩、自転車、保護者送迎

責任主体：会津若松市教育委員会 / きたあいづスポーツクラブ  
活動種目：剣道、バスケットボール、サッカー、卓球、ソフトボール、ソフトテニス  
会費等：徴収無し  
保険：800円（スポーツ安全保険）

### （実践研究の成果）

・ 複数校が主体的に週末に合同の練習会（週末合同練習会）を実施することにより、地域移行にかかる人材を確保するとともに、生徒数減少に対応した部活動の活性化を図ることができた。毎週1回程度総合型地域スポーツクラブが運営主体となり、学校と連携し休日の部活動を地域に移行するとともに、地域スポーツの活性化を図ることができた。

### （運営体制図）

